

《閉会あいさつ》

三重県議会副議長 萩野 虔一 氏



県内各地あるいは県外からも、このように大勢の皆さんにご出席いただきまして、フォーラム2006、盛会に開かせていただきましたことを、議会を代表して心から感謝を申し上げます。

また、大森先生、そして栗山町の橋場議長さん、そして助言者の亀井名張市長にも心から感謝を申し上げます。

2000年に地方分権一括法が通って、地方をめぐる環境は大きく変わりましたが、座して待っていても何も与えられないということを痛切に感じたこの6年間でございました。やっぱり、地方は地方で自ら勝ち取っていくもの、そういう思いも込めて私どもはこの議会基本条例を提案させていただきました。参考にさせていただきたいなどとおこがましいことは申し上げませんが、私どもとしては、一石を投じさせていただいたつもりでございます。

この基本条例は、亀井さんがおっしゃっていただいた美しい三重をつくる条例から数えて12本目の議提条例でございます。でき上がれば、都道府県全国初の条例になると思います。一石を投じさせていただきましたその波紋が全国に広がることを期待いたしますし、特に三重県内の各地で今日を受けて議論の炎が上がることを心から皆さんにご期待申し上げたいと思います。

重ねてご出席いただいた皆さんに心から感謝を申し上げまして、県議会を代表してお礼の言葉とかえさせていただきます。ありがとうございました。